



中野区
議会議員

中村延子

区議会レポート

発行 / 中野区議会民主党議員団

中野区中野 4-8-1 Phone: 03-3228-8876 Fax: 03-3389-8718

編集 / 中村延子事務所

中野区弥生町 4-36-6-402 Phone: 080-6533-9450 Fax: 03-3380-3150
email: n@nakamuranobuko.jp

Vol. 12

平成27年8月号

平成27年第2回定例会で民主党議員団を代表し一般質問を行いました。

1. 避難所運営について

(1) 災害時の妊産婦支援について
災害時要援護者として高齢者、障害者、外国人、乳幼児、妊産婦が上げられて

いるが、妊婦や乳幼児を抱えるお母さんへの対策がとられているとは言いがたい。妊婦は、けがや病気がなくとも妊娠しているというだけでリスクがあり、東日本大震災の際には特に目立った外傷がなかった妊婦が数日後に流産してしまったケースもあった。震災後の被災地では「産後うつ」が強く疑われる母親は21.5%もいた。妊産婦は、災害弱者の中でも特に災害による影響を受けやすくなりリスクも高い、そして医療との連携が早期に必要な存在であるという認識に立った対応が必要であると考え、区の見解は。

健康状態の把握に努めるとともに、精神的動揺等に対するケアとして、巡回精神相談チームを編成する。

(2) ペットの同行避難について

避難所へのペットの同行避難は、原則、自宅が倒壊してしまった場合や焼失してしまった場合に限られるとはいえず、木密地域などでは避難所で受け入れる事が出来るペットよりも多くの同行避難も考えられる。各避難所での受け入れ可能数は把握しているのか。また、実際のペット数や避難所へ同行避難が必要になりうるペット数はそれぞれの避難所で把握しているのか。

区長・校庭の一部を利用しペットを受け入れる事としており、犬を主に想定している。中野区では9759頭の飼い犬が登録されており、避難率を勘案するとおよそ1500頭と想定している。

2. 災害時の情報発信について

(1) 災害時の情報発信について

中野区は「Vista」の利用を平成23年10月末から開始し、「Twitter」からの発信は原則防災や災害に関する情報のみに限るとしている。過去の発信状況を見ると、基準がないように思われるが、基準はどうなっているのか。政策室長：災害発生時、区民生活に影響を及ぼし、緊急に情報提供をすべき事態が起きたと区が判断した際に発信している。現在のところ、発信についての明確な基準は設けてい

ないが、今後検討していく。

(2) 安否確認メールについて

5月30日小笠原諸島の地震発生時、災害対応する区職員の一部や区議会議員、一部の医療関係者を対象とした安否確認メールが送信されたが、メールに貼られていたリンクを開き、安否確認および参集の可否を登録するページが開けず、登録することが出来なかった。今回、安否確認メールが機能しなかった原因はどのような分析されているのでしょうか。今後はどのように改善をしていく予定なのか。

都市基盤部長：一斉防災情報収集システムは業者委託により運用している。今回の地震では、都内すべての顧客に安否確認メールが配信された。サーバーダウンを防ぐ対応として、安否登録の同時アクセス数に上限を設けていたため、65分に渡って繋がりにくい状況になった。委託業者に改善を求めたところ、同時アクセス数の上限値を2倍に、サーバーの処理能力を25%増強するなど、改善を図るようになった。

3. がん対策について

(1) 検診受診率向上施策について

がんの早期発見、早期治療のためには、がん検診受診率向上が非常に重要である。中野区が平成26年度から始めた子宮頸がん検診の未受診者に対するハガキでの受診勧奨は、受診率向上に大きく貢献したと考えられる。

引き続き精度の高いがん検診を行っていくとともに、受診勧奨施策を拡充すべきと考え、区の見解は。

健康福祉部長：現在、国が胃がん検診の対象年齢の見直し等、がん検診の実施方法について検討を行っている。その動向を注視しつつ、他のがん検診の受診勧奨についても、勧奨する年齢層や勧奨方法を検討していきたい。

(2) 受動喫煙防止について

本年6月1日に厚生労働省主催で「がんサミット」が行われた。厚生労働大臣は、「がん対策加速化プラン」を年内に策定すると発表。そのがん対策加速化プランの柱のひとつには受動喫煙防止が含まれる。発煙の制御可能な発煙リスクとしては、喫煙があげられる事は周知の事実だ。年齢が低いほど血清ニコチン濃度は高くなる傾向があり、子供は成人よりも高度に環境たばこの煙に曝されていることが示されている。子どもたちが日ごろから利用している公園にも大人たちの喫煙所と化している場所がある。この状況を把握しながら自治体として放置するべきではないと考え、子どもたちが利用する公園などに関しては、禁煙にするべきと考え、区の見解は。

黒部市・富山市を会派で視察

平成27年5月28日および29日、民主党議員団として富山県黒部市および富山県富山市へ視察に行ってきました。

黒部市では、新庁舎建設についてお話を聞いたのち、平成27年10月に竣工予定の新市役所の建設現場も視察をさせていただきました。中野区でも新区役所整備計画が進められる予定です。同時期に建設された庁舎を持つ多くの自治体で現庁舎が老朽化・建設計画が進められている中で、様々な事例を学びより良い計画になるよう私たちも努力してまいります。

富山市では、「コンパクトシティー」についてお話を伺いました。富山市は、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを核にした人と地球環境に優しいまちづくりを進めています。平成20年度には、「環境モデル都市」に選定され、さらに平成23年度には、「環境未来都市」に選定されました。中野区においても少子高齢社会化にともない、きめ細かい見守り・支え合いネットワークの構築は大きな課題の一つです。富山市が進めている「コンパクトシティー」は、そうした社会保障の観点からも大変参考になる取組でした。



喜多方市でのカーボンオフセット事業の協定締結式に参加

平成27年7月22日に福島県喜多方市で行われた、中野区と喜多方市との連携による地球温暖化防止のための森林整備等に関する協定締結式に、中野区長、中野区議会議長とともに中野区議会区民委員会の委員長として参加をしてきました。



区政・都政・国政 合同報告会を開催



平成27年6月13日に中野サンプラザにて「区政・都政・国政 合同報告会」を開催。多くの方にお集まりいただきました。中野区・渋谷区の区議会議員、都議会議員、長妻昭衆議院議員より、それぞれの取り組みについてご報告いたしました。質疑応答では、国会において最大の焦点となっている「安保法制」に関する質問が相次ぎました。民主党議員団は第2回中野区議会定例会に「安保法制の慎重審議を求める意見書(案)」を提出しましたが、自民党・公明党の反対多数で否決されました。

中村延子

なかむら のぶこ

略歴

1981年9月2日生まれ 東京都中野区出身/東京文化小学校、東京文化中学校卒業/米国アニーライトスクール高等部卒業/米国クレアモント・ピッツァーカレッジ卒業/在学中、北京大学医学部へ短期留学/約4年間、民間企業に勤務/民主党衆議院議員手塚よしお秘書、参議院議員蓮舫秘書として経験を積み、2011年中野区議会議員選挙にて初当選。2015年4月2513票いただき、2期目の当選/役職: 区民委員会委員長、少子高齢化対策調査特別委員会委員

www.nakamuranobuko.jp

趣味

●音楽、料理、旅行、フラワーアレンジメント ●おとめ座/B型/酉年